

ロジスティクス最前線/関東版 特集

「送料無料」言葉が野放し



波田 雅文氏

大島 それでは最後に、今後に向けた取り組みや課題などについてお話しします。



太田桐 聡氏

取方改革は、利用者の意識改革を意味しています。自宅へ配達してくれるという点では便利ですが、一方で、利用者が「受取時間を指定して」ということを、荷物待っている間に、荷物を持っていない間に、再配達件数を抑制できると感じています。



大島 弘明氏

志村 人口減少時代に対応していくには、大手はM&A(合併・買収)などが考

えられますが、我々は資金があまりありません。顧客からは、域での事業者と連携していき、届いたサービスが求め

られており、これからは広域での事業者と連携していき、届いたサービスが求め

ための協組でもあります。大島 大手事業者においても同業他社と手を結ぶという動きになっており、人手不足の中、企業間の協力体制はこれからますます構築されるのではないのでしょうか。消費者の生活をサポートするのが、ラストワンマイル輸送を担う皆さんの仕事。その立場からいって、物流が持っている良くないイメージを変えていくという面もあると思います。

伊藤 ネット通販の拡大という流れは変わらないと思います。今回の西日本の豪雨でインフラがストップしましたが、消費者は本当に物流の重要性を認識しているのかな、と感じています。一方で、ヤマト運輸の値上げなどで少しづつ兆しは出ているようにも感じます。

受け取り方改革を推進 太田桐 届け先の環境が不十分 波田

も不在だったり、駐車禁止の問題があったりするなど、届け先の環境がいまだに良くないと思います。荷主や受け取る側が、もっとラストワンマイル輸送のドライバーの気持ちを考えて欲しいと思います。伊藤 ドライバーの辞めない環境づくりと、辞めた後のセカンドステージとして働ける環境を与えることを目的に、5月に新たな部署を立ち上げ、整体院と

ラストワンマイル輸送の展望

来は無料ではないのに、荷主や消費者が真に受け、購入の時に送料を気にするようになってしまいました。送料が売れないみたいなので、荷

主は送料無料にこだわっているようです。大島 私も送料無料でいう表現が無くなるよう訴え続けていますが、送料無料で掲げると自体は法違反にならないようです。送料が無料のはずはないので、「送料当社負担」「送料込み」と改めるよう訴えています。波田 レビューの通り、

通販拡大、物価安を誘導 波田 物流重要性理解に兆し 伊藤

業界団体などが、今までの以上に荷主や社会に対して訴える必要があります。ドライバーがやりがいを感じることもつながらなければなりません。太田桐 ネット通販の拡大がマクロ経済に影響しているという事実は否定しません。Amazon effectと言われるように、米国内でモールや小売店が軒並み閉店を余儀なくされている状況が報道されています。国内においても百貨店の経営統合など、小売店へのアゲインストな状況がうかがえます。米国の同様の現象が起こっていると思います。また、ネット通販の進化による一物一価の状況が将来的な経済動向にも影響を与えるのではないのでしょうか。波田 レビューの通り、



伊藤 淳氏



志村 直純氏

インターネット通販の拡大が物価安を誘導していると思えます。リアル店舗が対抗するには、来客への満足度をいかに高めるのかを考慮する必要がありますが、しばらくは安さに勝てないようには思っています。また、ネット通販の拡大だけでなく、若い世代は買い物自体に対する欲が無いように思えます。こうした傾向は、しばらく続くのではないのでしょうか。

地域に寄り添い、「食」の未来を輝かす。 KOKUBU logo and website information.

私達は、物流と、生活を支えるエネルギー販売のネットワークを拡充し、選ばれる企業を目指します。 ENEOS logo and company information.